



島根県立三瓶自然館 サヒメル理科ネット通信 vol.024

『昆虫採集に出かけよう！！ ～昆虫トラップに挑戦しよう～』

<http://rikanet.nature-sanbe.jp/>

2014 .6.28

INDEX

- ・特集『昆虫採集に出かけよう！！ ～昆虫トラップに挑戦しよう～』
- ・お知らせ

※携帯電話でのメール受信の場合、本文のレイアウトがくずれている可能性があります。予めご了承ください。



サヒメルイベント情報

・サヒメル夏の企画展「サヒメル大昆虫展」

今年も始まるサヒメルの夏の企画展。今年のテーマは「昆虫」です。

世界のカブトムシ・クワガタムシの紹介や、ツノゼミやモルフオチョウなどの世界中の変わった虫たちの紹介。島根の昆虫大集合など、サヒメルならではの見所いっぱいの昆虫展です。この夏は、サヒメルへ！！

期 間：7月12日(土)～9月28日(日)

入館料：大人 700円 小人 200円



・親子工作 木の実の工作

木の実や小枝を使った工作をします。

日 時：7月13日(日)13:00～15:00

場 所：島根県立三瓶自然館

定 員：20名（要予約）

参加費：一人100円

・夏の夜の昆虫観察

夜の森の中を歩いて、樹液や明かりに集まる昆虫(コガネムシ、クワガタムシなど)や葉の裏で休むナナフシ、セミの羽化などを観察します。

日 時：7月26日(土)19:00～21:00

場 所：三瓶自然館集合

定 員：40名（要予約）

参加費：一人100円

・親子工作 とびだせ昆虫くん

昆虫がテーマの工作をします。

日 時：7月27日(日)13:00～15:00

場 所：島根県立三瓶自然館

定 員：20名（要予約）

参加費:一人100円

※7月は教員向けのワークショップ・科学教室はありません

イベントに関する申込み・お問い合わせ：0854-86-0500（三瓶自然館）



■ 特集 『昆虫採集に出かけよう！！』

～昆虫トラップに挑戦しよう～』

梅雨に入り、いよいよ夏が始まります。気温が上がるにつれ、さまざまな生き物たちが現れています。なかでも昆虫は、日常生活の中でよく見る生き物です。教材として使おうと考えておられる先生もおられるのではないのでしょうか。



草原や草むらには、チョウやバッタを始め、
いろいろな昆虫がいます。

実際に捕獲する際に使われる方法でまず思いつくものは、「虫採り網での捕獲」でしょうか。しかし、虫採り網で捕まえる場合、当たり前ではありますが、まず「昆虫を見つける」必要があります。しかし、この「を見つける」ことがとても大変です。また、見つけられてもしっかり観察する前に逃してしまうという事もあります。

そこで今回は、仕掛けておくだけで虫を観察できる「罠(トラップ)」、その中でも比較的簡単にできるものを調べ、三瓶自然館の研究員指導のもと、挑戦してみました。

① パントラップ

料理などで使うトレーに水を入れて、それを平らな場所に設置するだけの非常に簡単な罠です。トレーに偶然落ちる昆虫や光の反射に誘われた昆虫が飛び込んできます。



左が実際に野原に仕掛けた様子。本当に置いておくだけです。
右の写真の手前のトレーに見える小さな点は、罠に掛かった「コアオハナムグリ」です。

図鑑では、トレーの色は黄色が、最も虫がかかりやすいと紹介されていましたが、今回は、比較的調達しやすい白いトレーで挑戦してみました。

設置する場所は、光の反射を利用するため、良く晴れた日の日向に設置します。

実際に花の咲いている草地に設置したところハナムグリやハナバチ、ウスバシロチョウなどがかかりました。



左が「コアオハナムグリ」、右は「ウスバシロチョウ」です。

注意する点は、罠に掛かった昆虫が死んでしまわないようにすること。罠に掛かった昆虫は罠から脱出しようと懸命にもがき、息絶えてしまいます。これを防ぐには 20~30 分間隔で、罠をこまめに確認するようにしましょう。また、捕まえた虫は水に濡れて弱っていますが、風通しの良いところにしばらくおいておくと乾いて、ふたたび元気になることもあります。

② 竹筒トラップ

直径が数 mm から 1cm の竹や葦を 40cm 程の長さに切り、その竹を数本束ねて、軒下などに（吊して）おく方法です。

筒を巣に利用するハナバチやカリバチの仲間が集まってくるため、観察が容易です。



サヒメルにも設置ある竹筒トラップ。サヒメルでは昆虫は回収せず、ハチのすみかとして展示しています。

この罫は、サヒメルでも常設してあります。サヒメルでは、4月の中旬からGWにかけて、このトラップの周りで、マメコバチが巣作りや交尾などの活動を行います。



マメコバチ。上に乗っているのがオス、下がメスです。

そして、その後、数週間後に穴の中に泥や土が詰まっていることがあります。それはマメコバチやドロバチなどが作った巣です。中にハチの幼虫がエサと共に入っているので、逃げ出さないように取り出すとハチの成長を観察することも可能です。



いくつかの筒に白い泥が詰まっていることが分かります。

以上が簡単にできる昆虫用トラップです。クラブ活動や総合学習で生態調査としてやってみても楽しそうですね。

他にも電灯を使った採集法など、色々な方法がありますので興味のある方は調べてみて下さい。

参考文献

『増補改訂版 昆虫の図鑑 採集と標本の作り方』

著者：福田晴男・山下秋厚・福田輝彦・江平憲治・二町一成
大坪修一・中峯浩司・塚田拓

発行：株式会社 南方新社

(サヒメル理科ネット事務局 工藤 修也)



■ □ お知らせ

・メーリングリスト (ML) について

下記のメールアドレスにメールを送信していただくと、会員の皆様、サヒメルの研究員にメールが届くようになっています。

子ども達に好評だった教材の紹介など、情報共有にぜひご活用ください！

rikanet@nature-sanbe.jp

・会員専用ページ

会員専用理科相談室（理科授業に関する疑問や教材の質問ができます）

会員専用教材貸し出し受付（教材の貸し出し申込ができます）

<http://rikanet.nature-sanbe.jp/members/>

・島根県立三瓶自然館サヒメルホームページ

<http://nature-sanbe.jp/sahimel/index.htm>



※メルマガの配信停止を希望される方は下記連絡先までお問い合わせください。

三瓶自然館 サヒメル理科ネット事務局 工藤

TEL : 0854-86-0500 FAX : 0854-86-0501

E-mail : rikaoffice@nature-sanbe.jp

この事業は JST ネットワーク形成先進的 science 館連携型の支援を受けています。